

テトラ ワンタッチフィルター

取扱説明書 OT-30 Plus用



●このたびは、テトラ ワンタッチフィルター OT-30 Plusをお買い上げいただき、誠に有難うございます。
●正しく安全にお使いいただくために、使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、十分に理解してからご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、必要な時お読みください。

1

Japanese Version 100V 50/60Hz

安全にお使いいただくために

お使いいただく前に、取扱説明書をよくお読みご理解いただいたからお使い下さい。誤った使い方は、人、動物、財物の重大な事故につながる危険があります。お読みになった後は大切に保管し、必要な時には再読して下さい。

警告



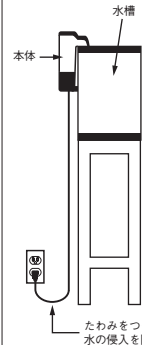
感電事故を避けるためにお守り下さい。



- 始動前に必ず水漏れチェックをして下さい。(設置方法1に従って下さい。)
- 水の中に手を入れる時は、必ずプラグを抜いて下さい。
- 水漏れや事故の際は、直ちにコンセントからプラグを抜いて下さい。
- セット、点検、掃除、移動の時はプラグを抜いて下さい。
- 濡れた手で、プラグの抜き差しをしないで下さい。
- 強い衝撃を加えたり、落としたりしてはいけません。
- 幼児、子供のいたずらや、接触転倒などに十分ご注意ください。
- 子供が使う時は、大人が立ち会うようにして下さい。
- 改造してから使わないで下さい。
- 本器を水中に落とした場合、電源を切ってから取り出して下さい。
- 万一何らかの理由で、フィルターに水が入っていない状態で一定時間以上作動させた場合には、明るい光の下でプラスチックの表面がゆがんだり、溶けたりしていないか調べて下さい。もしゆがんだり溶けたり、あるいは作動具合が良くなかった場合には、使用しないで下さい。

注意

火災・漏電事故を避けるためにお守り下さい。



- 電源はAC100ボルトの専用コンセントをお使い下さい。テーブルタップ(延長コード)の使用は避けて下さい。
- コンセントのプラグやコードに埃(ほこり)が被らないようにして下さい。
- プラグを差し込む時は、隙間が出来ないように、しっかりと押し込んで下さい。
- 水滴や飛沫がプラグやコンセントを濡らさないようご注意ください。
- 痛んだコードは、湿気や水滴により火災をおこす恐れがありますので使用しないで下さい。
- プラグの刃の部分、刃と刃の間の汚れは定期的に取り除いて下さい。
- 電源コードを加工したり、ご使用の際にたばねたり、柱に打ちつけたりしないで下さい。
- 水がコードを伝わってコンセントを濡らすと火災、感電の原因となります。水が侵入しないように、コンセントより低い位置にコードのたわみをつけるようにして下さい。(左図イラスト参照)

2

安全にお使いいただくために

注意

本体による事故や故障を避けるためにお守り下さい。

- ストレーナーは必ずセットしてご利用下さい。セットしないで使用すると異物吸い込みにより停止、故障の原因となります。
- 必ず、フィルターケースに水を入れてから電源を入れて下さい。
- 本体を洗浄する時、せっけん、洗剤を使用しないで下さい。
- ストレーナーの網目より小さな魚や砂は、フィルターに吸い込まれることがありますのでご注意ください。
- 観賞魚水槽用フィルターです。それ以外の目的で使わないで下さい。
- 屋内専用です。屋外では使用しないで下さい。
- 正しい電源電圧周波数で使用して下さい。
- 目づまりや汚れによる流量低下は故障の原因となりますので、ストレーナーフィルターやモーター部やインペラ部、ワンダーチューブ部は状況を見ながら定期的に掃除して下さい。
- 水槽の水位に注意して下さい。モーターを空運転させますと、故障の原因となります。
- 適合水槽は魚種、魚の数、環境によって違ってきますのでご注意ください。海水魚、大型魚など、特にパワーを必要とする場合は大きめのフィルターを使用して下さい。
- 器具を本来の目的以外に使用しないで下さい。推奨されている製品もしくは当社製の付属品以外のものを接続すると、危険な状態になる場合があります。
- 0度以下の条件にさらされる可能性のある場所に器具を設置したり、保管したりしないで下さい。
- 作動前に、水槽にセット器具がきちんと設置されているか、水漏れがないか確認して下さい。
- コードは、つまづいたり、引っ張られたりすることがないように取り付けセットに注意して下さい。
- 高水温となる夏季は、フタを開けるなど通気性を高め水温上昇を予防して下さい。
- 酸素消費量の多い飼育状況では、エアポンプの併用をおすすめします。
- 魚病薬等を使用する際は、バイオバグジュニアを取り除いて下さい。バイオバグジュニアが薬効成分を吸着してしまいます。

テトラ製品の取扱方法・お手入れ方法・修理その他ご不明な点は、機種名をご確認の上、お買上げの販売店又は弊社にご相談下さい。

(弊社商品相談窓口) テトラ インフォメーションセンター

- 電話受付時間：月～金曜日 午前10：00～12：00 午後2：00～5：00 (祭日は休業いたします)
- 電話番号：03-3794-9977
- お手紙の受付：(随時) 宛先：〒153-0062 東京都目黒区三田1-6-21 アルト伊藤ビル

テトラ ジャパン株式会社 テトラ インフォメーションセンター

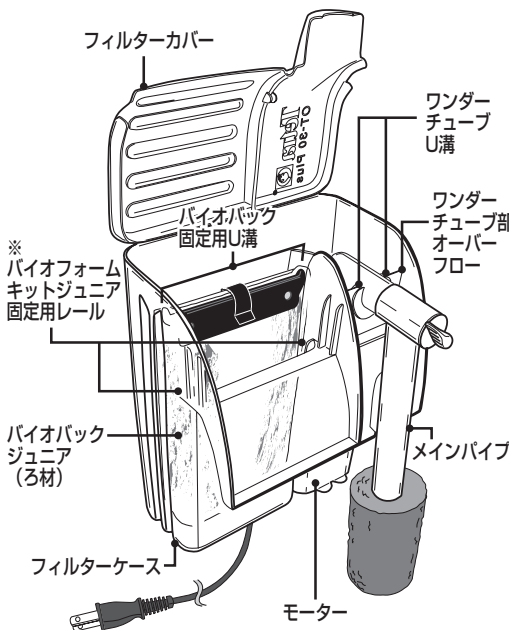
情報がいっぱいのおテトラ ホームページをご利用下さい。 www.tetra-jp.com

注意

- 誤った使用方法、管理不十分による損害、魚、水草などの生体の病気、死亡、枯死については、弊社では責任を負いかねますので、予めご了承下さい。

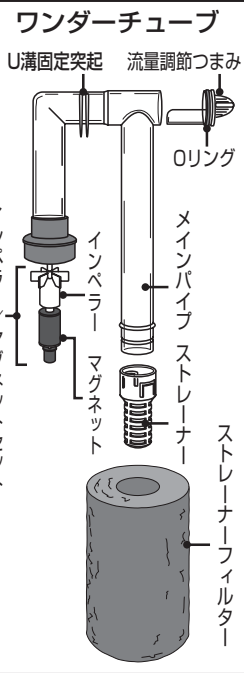
3

各部の名称



※バイオフィームキットジュニアは別売りとなります。

4



設置方法

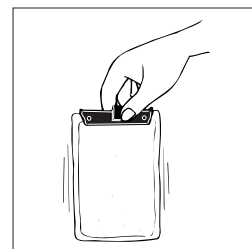
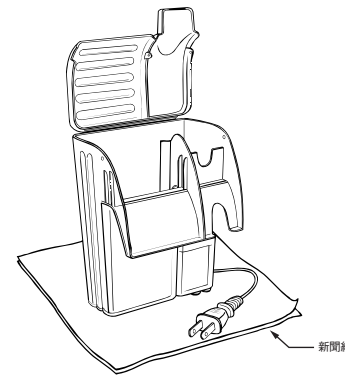
4ページの「各部の名称」を参考に組み立てます。

フィルターカバーを上部に持ち上げてバイオバグジュニア、ワンダーチューブを取り出します。

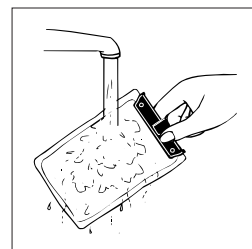
- 1 輸送等により破損していることがありますので、水漏れがないかを必ず確認します。各部を外見からチェックした後、フィルターケース内に2/3程、ぬるま湯を入れて新聞紙の上に15分置き、水が漏れていないかどうかチェックします。水漏れするようでしたら、使用を中止し販売店にお知らせ下さい。

注意

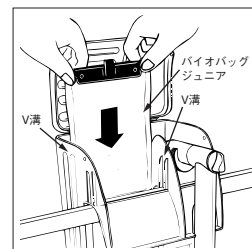
輸送等により破損していることなどがありますので、必ず水漏れをご確認のうえご使用下さい。



- 2 バイオバグジュニアをビニール袋より取り出し、図のように軽くふり、下部に吸着ろ材を集めます。

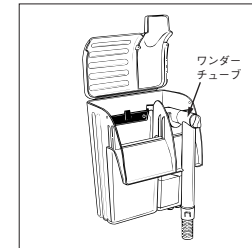


- 3 水道水でバイオバグジュニアを軽くすすぎます。

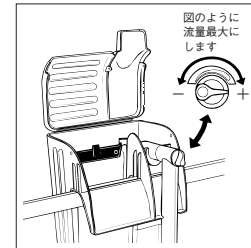
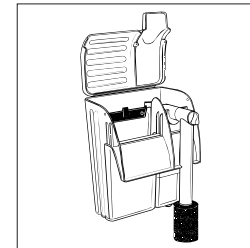


- 4 両手でしっかりと図のようにフレーム部を持って、バイオバグ固定用V溝にバイオバグジュニアの両端を入れ、底部に届くまでしっかりとセットします。

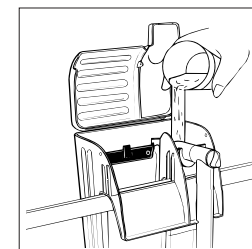
設置方法



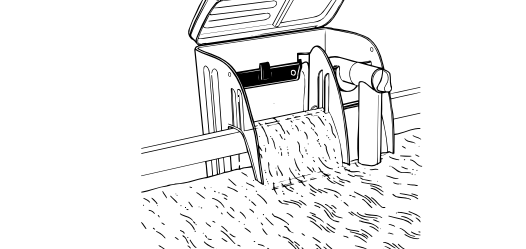
- 5 ストレーナーを接続したワンダーチューブを、矢印部分が溝の中に入るように深くセットします。ストレーナーは水槽の底の砂利などに接触しないようにして下さい。砂を吸い込むと停止し、故障の原因となることがあります。OT-30 Plusにはストレーナーフィルタースポンジが付属されています。ワンダーチューブのセットが終了したらストレーナー部にスポンジを差し込んでご使用下さい。これにより砂や、異物の吸い込みを予防でき、さらに生物ろ過能力を高めます。



- 6 フィルターケース部が水槽の外側になるように水槽枠にセットし、流量調節つまみを+（プラス）側に回し、流量が最大になるように調節します。



- 7 ワンダーチューブケース内に水を十分満たします。(呼び水)



- 8 水槽の水面位置は、水槽最上部より1~3cm下がった部分が水面になるように水槽の水位を調節して、電源プラグをコンセントに差し込みます。10~20秒後に自動的に運転を開始しますが、もし運転しない場合、ワンダーチューブ部を1~2回上下して下さい。(それでも運転しない場合12ページの「故障異常の見分け方と処置方法」をご参照下さい) フィルターカバーをセットします。

6

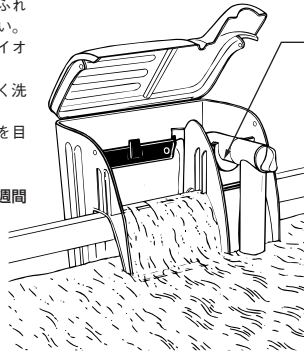
5

バイオバッグジュニアの交換方法

ワンダーチューブ部オーバーフローから水が多くあふれてきましたら、バイオバッグジュニアを交換して下さい。また、水のにごりが激しくなりましたら、早めにバイオバッグジュニアを交換して下さい。交換するバイオバッグジュニアは予め水道水中で軽く洗って下さい。通常バイオバッグジュニアは2～3週間に1回の交換を目安にして下さい。

※海水魚や、魚を多く飼育している場合は、1～2週間に1回の目安で交換することをお勧めします。

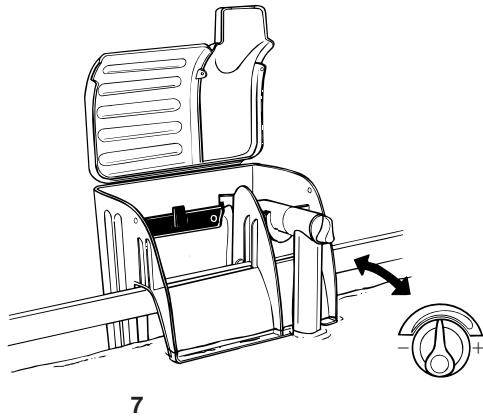
お求めの際は、**バイオバッグジュニア**をお買い求め下さい。



ここからあふれる水の量が増えましたら、バイオバッグジュニアを交換して下さい。

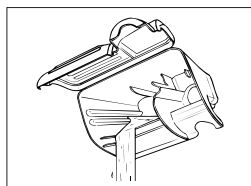
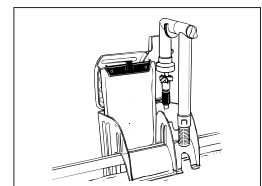
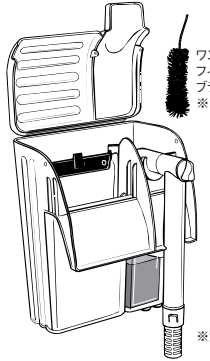
餌を与える時の流量調節

テトラミンやテトラフィンなどフレークフードを与える時は、ストレーナーフィルタースポンジに吸いつかれないように流量調節つまみを-（マイナス）側に回します。フードが食べ尽された後は、お好みの流量に調節してご利用下さい。



モーター部のそうじ

モーター停止など故障防止のため定期的に、そうじをします。



- 電源コードをプラグより抜いて、電源を切ります。
- ワンダーチューブ部、ろ材を本体より取り除きます。

- 水道水でモーター内部を流水ですすぎ洗いしてください。さらにテトラ ワンタッチフィルターブラシ（別売）等をご利用いただき、異物を取り除くとともに内部のこすり洗いを実施し、水アカ等の汚れを落として下さい。

※別売のワンタッチフィルターブラシをご利用いただくことで、モーター内部の汚れを簡単にそうじできます。

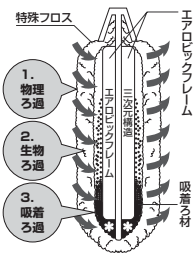
交換ろ材

①テトラ バイオバッグジュニア

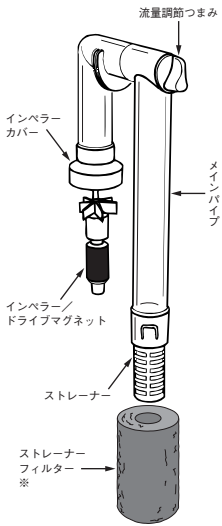
- 通常2～3週間に1度を目安に交換することをお勧めします。
- ※海水魚や魚を多く飼育している場合は、1～2週間に1度は交換して下さい。

バイオバッグジュニアのトリプルろ過

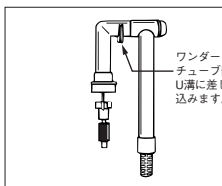
- 1 汚れをカットする 物理ろ過**
特殊フロスが魚のフンや残りエサを除去します。
- 2 汚れを分解する 生物ろ過**
三次元構造のエアロビックフレームが汚れを分解する「ろ過バクテリア」の繁殖をうながし、有害なアンモニア、亜硝酸を分解します。
- 3 汚れを吸いとる 吸着ろ過**
1g当たり900㎡の表面積を有する高品質吸着ろ材がにごり、悪臭を吸着します。



ワンダーチューブ部のそうじ

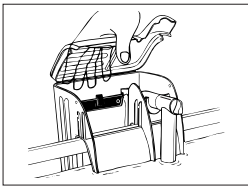


※飼育水または塩素を中和した水でもみ洗います。

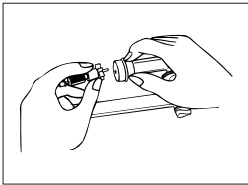


- ワンダーチューブ部をフィルターケース部のU溝に差し込みます。その後洗浄したストレーナーフィルタースポンジを取り付けます。

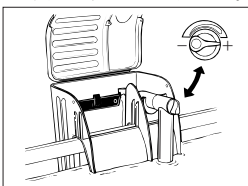
故障防止のため定期的にそうじします。



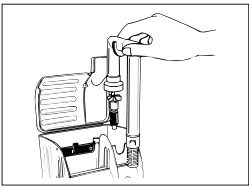
- 電源プラグをコンセントから抜き、フィルターカバーを上部に持ち上げます。



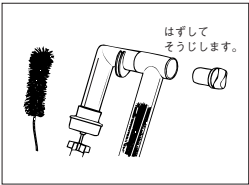
- インペラー/ドライブマグネットをはずして、流水でシャフト、インペラー/ドライブマグネット、固定ゴム部をしっかりと洗います。



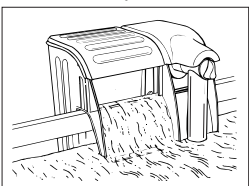
- 流量調節つまみを+（プラス）側に回し、最大流量に調節し、コップなどでフィルターケース内に水を満たします。（呼び水）



- ストレーナー部よりストレーナーフィルタースポンジを取り除いてからワンダーチューブを持ち上げて本体から取りはずします。



- 流水で汚れを洗い流したり、テトラ ワンタッチフィルターブラシ（別売）等を使ってパイプ部をそうじします。

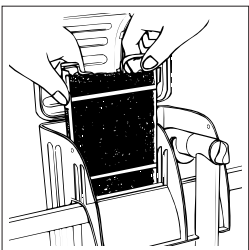


- 電源プラグをコンセントに差し込み、運転を再開させます。

オプションパーツ

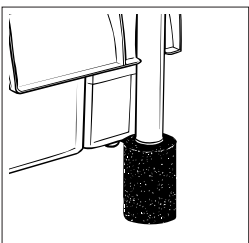
①テトラ バイオフォームキットジュニア

- OT-30 Plus専用の生物ろ過を高めるろ過バクテリアを繁殖させるろ材です。
- バイオフォームは、1か月に1度または目詰まりしたら洗浄してご利用いただけます。交換は6か月に1度を目安となります。



②テトラ ストレーナーフィルター 2個入

- 通常2週間に1度を目安に洗浄してご利用いただけます。交換は、スポンジを洗浄してもすぐに流量が少なくなる場合は交換して下さい。



③テトラ ローリングサンダー

- 排出される水の勢いでスポンジが回転し、さらに強力な生物ろ過を行います。
- スポンジが水の流れを抑えて、魚にやさしい水流にします。



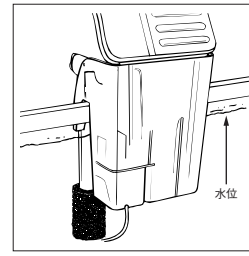
④テトラ ワンタッチフィルターブラシ

- テトラ ワンタッチフィルター用洗浄ブラシです。
- ぬめり、汚れを落とし、モーター停止、流量回復に効果的です。

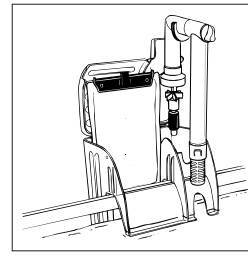


※交換ろ材、オプションパーツのご購入は、本体ご購入販売店へお問い合わせください。

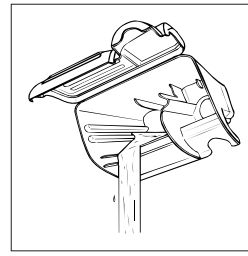
フィルターケースのそうじ



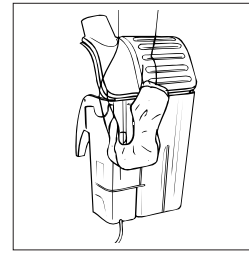
- 電源コードをプラグより抜き、ストレーナー部よりストレーナーフィルタースポンジを取り除き、ワンダーチューブ部をはずします。



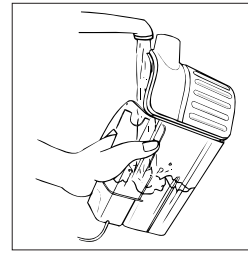
- バイオバッグジュニアを取り出します。



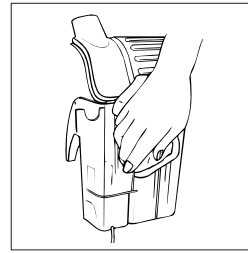
- 水を捨てて空にします。



- 布でフィルターケースの内側の汚れを拭き取ります。



- フィルターケース内をすぎます。



- 外側を乾いた布で拭き取り、**設置方法**を参考にセットします。

※そうじをする時には、洗剤、シンナー、ベンジン、化学ぞうきん、金属ブラシなどは使用しないで下さい。

故障・異常の見分け方と処置方法

注意 ⚠️ 細かい砂などの異物を吸い込むと止まります。下記を参考に処置して下さい。

現象	原因・チェック	処置方法
水が流れない (モーターが動かない)	呼び水はしましたか？ 電源は入っていますか？	設置方法 の"7"を参照して下さい。 コンセントにしっかりとプラグを差し込んで下さい。
モーターが止まる	ワンダーチューブ部がしっかりとU溝部分にセットされていない。 (異常音が発生する) インペラー部やモーター内部にゴミや水アカが付着している。または細かい砂やろ材など異物を巻き込んでいる。 インペラー/マグネットや軸に糸や毛などが巻きついている。 インペラー/マグネットが軸を中心にスムーズに回転しない。 水槽の水位が低くありませんか？ 吸水パイプの下でエアレーションをしていませんか？	U溝にしっかりと深くセットして電源を入れ直して下さい。(ストレーナー部が、水槽の底に触れないようにセットし、ワンダーチューブが浮かないようにして下さい。) インペラー部やモーター内部のゴミや水アカを取り除くために分解そうじをして下さい。または細かい砂など異物を吸い込まないように注意して下さい。 糸や毛などを取り除いて下さい。 軸とインペラー/マグネットの間にカルシウム等のミネラル分が付着しているのを取り除く。(食用酢の中に数時間浸してから強い水流中でよく洗う。) 設置方法 の"8"を参照して下さい。 ワンダーチューブ部に空気が入り込むと運転しなくなることがあります。エアークレブが吸い込まれない位置で、エアレーションして下さい。
流量が弱まる	ワンダーチューブ部やインペラー部、モーター部にゴミや水アカが付着している。 ストレーナーフィルターが目詰まりしている。	ワンダーチューブ部、インペラー部、モーター部をそうじして下さい。 ストレーナーフィルターを洗浄して下さい。
異常音が発生する	インペラー部が破損していないかチェックします。	破損している場合、交換します。
水漏	フィルターケース、ワンダーチューブケース部に亀裂はありませんか？	破損している場合、そのままご使用になると危険ですので、ご使用にならないで下さい。

●上記該当しない場合は、お買い上げ店もしくは弊社テトラ インフォメーションセンターまでお問い合わせ下さい。